

あたたかい ことば

長いお休み どうすごされましたか？
わたしは特に大きなことはせず のんびり
こんなときだから 昔の絵本を手にとってみました

『フレデリック ～ちょっと かわった のねずみの はなし～』
冬が近づき のねずみたちは昼も夜も働いて
食べ物を集めているけれど フレデリックだけはべつ

「どうしてきみは働かないの？」

「寒くて暗い冬の日のために お日さまの光をあつめてるんだ」

やがて雪がつもり 集めた木の実、草の実はなくなった

おしゃべりをする気も起らない そのときみんな思い出した

「君があつめたものはどうなったんだい？」

するとフレデリックは言った。

「目をつむってごらん。お日さまをあげよう。

ほら感じるだろう、燃えるような金色のひかり…」

のねずみたちはだんだんあたたかくなってきた。「これは魔法かな？」

むかし子どもに読み聞かせていたとき、ここが不思議でなりませんでした

「燃えるような金色のひかり」と言うだけで「あたたかく」なるなんて…
でも10数年ぶりに読み返した今、なぜだか「あたたかさ」を感じました。

「これは魔法かな？」 いいえ、魔法ではありません。

そのとき膝で聞いていた子どもたちの 肌の暖かさを思い出したのです
絵本体験とはこのことだったんだ！

ことばって なんてあたたかい。

子どもたちは それを理屈ではなく

毎日少しずつ 豊かな言葉を届けてくれる

大好きな人たちの肌の暖かさを通じて 確信していく

そうしてやがて 自らもあたたかいことばを送り届ける者となる

そのはじまりが親子で触れ合う絵本のひとときなのです

「あたたかい」ことばの時間をぜひ今晚も子どもたちと楽しんでください

(つくし保育園園長 つだかずお)

<お庭のチャペル 礼拝のご案内>

毎週日曜日 午前10時30分 だいが教会

聖書のたのしいお話 なつかしい讃美歌

はじめての方も心より歓迎します。